

開院30周年記念 友の会春のつどい~270人の参加!

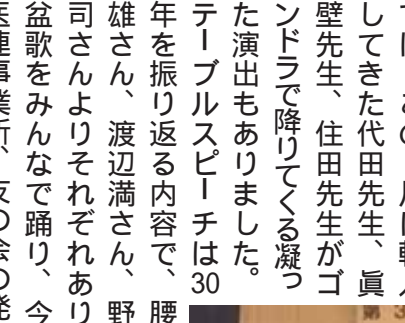
勤医協苦小牧友の会 友の会だより

30周年記念に相応しい内容に

5月21日に「第31回友の会春のつどい」がホワイトパークサンシャインで開催され、来賓・地域友

の会員、社員など合わせて270人が参加しました。来賓を代表して、苦小牧市の岩倉博文市長、北海道勤医協の堀毛清史理事長

それぞれよりご挨拶をいただきました。また、初代事務長の腰岡雅昭さんは、参加多数を懐かしき笑顔に話も弾みまし



病院後継者対策委員会による写真で30年を振り返るムービー、恒例の新転入職員の出し物では、この4月に転入してきた代田先生、眞壁先生、住田先生がゴンドラで降りてくる凝った演出もありました。テールスピーカーは30

年を振り返る内容で、腰岡雅昭さん、石川孝雄さん、渡辺満さん、野呂一誠さん、高畑直司さんよりそれぞれありました。最後に北海道盆歌をみんなで踊り、今後の苦小牧病院と民医連事業所、友の会の発展を願いました。

友の会の「あかい実」フラダンスの「カマカ・オカラニ」の皆さん、ピアノとフルートとヴァイオリンのアンサンブルの「音風」などどれも素晴らしい演奏と演舞となりました。苦小牧



大震災直後より全日本民医連は、全国各地の民医連病院、在宅、診療所が東日本地域に継続的支援を決めました。北海道民医連は坂総合病院その後大船渡・宮城の里(避難施設)地域を担当とし、北海道・青森・秋田と

勤医協苦小牧友の会
発行 発行責任者
菅野義正
電話 72-3291



東日本大震災医療支援の活動報告

総看護師長 東 幸子



整っています。私が支援に行っている地域に民医連の病院や診療所があるのとは、大きな違いがあります。その活動は、市や県がそこに住んでいる住民のいのちや医療、暮らしを守るために民医連が市の方々の支援者であることを実践したことにより、市から信頼され、市民に反映される結果になっています。綱領の実践がここにあったと思いましたが、北海道・青森・秋田・岩手県連から支援をつないでいますが、民医連がひとつだとさらに実感しました。初めてあっても同じ方針のもと、すぐに一緒に行動ができ、語り合い・改善していく。民医連職員は一つになつていけると実感しました。今回の震災支援で中心的となる行政のあり方やいろいろな団体と手をつなぎ、連携していくことが大切さを実感しました。勤医協苦小牧病院も30周年を迎え、この地域には勤医協があります。私たちは、これからますます友の会・地域の方々、他団体と手を結び苦小牧行政にも働きかけ一緒にによりよいまちづくりをしていきたいと思いをしました。

< 6月・友の会の行事予定 >

- 6月 6日(月) 友の会役員会事務局会議
- 9日(木) 友の会役員会
- 16日(木) 社員支部運営委員会
- 18日(土) 友の会総会
- 23日(木) 社員支部総会
- 28日(火) 友の会世話人交流会
- 29日(水) 友の会新聞郵送作業日(予定)

各行事のお問い合わせは事務局 72-3291 まで



くさくさの会 花友活動



春だ「桜だ」「梅だ」「ぶし」

うさとブロック春の行事が、北海道ではなかなか観ることのできない梅林見学を5月15日に31人の参加で行ないました。天候はまずまずでしたが、今時期の北海道ですので少し寒かったです。楽しいひとときを過ごすことができました。苦小牧の各家庭のムラサキツツジを見ながら車は高速道路へと走る、桜・こぶしの花を見ながらの平岡公園の梅林（白梅七部咲き、紅梅三部咲き）に到着。平岡公園の梅林は昭和57年から造成が始まり6・5畝の敷地の中に約200本植栽されています。日曜日とあつて梅林見学には家族連れ、ペット連れ家族、施設からは車椅子の団体もあり、あまりにも広い敷地なので全員一緒には楽しむことはできませんでしたが、参加者もそれぞれ梅の香りを感じたことと思います。その後、恵庭の道の駅「花ロードえにわ」で花を見る人と温泉でパークゴルフを楽しむ人に分かれまして。それぞれ温泉とパークゴルフに楽しく過ごすことができました。



途中ウトナイの道の駅に寄りましたが、白鳥がほとんどいない、鳥インフルエンザ、震災で渡り鳥がいらない、昨年の面影はない寂しいウトナイ湖を後にし、苦小牧へ無事着くことができました。最後に皆さんからのアンケート集約をいたしまして秋と来春の行事を予定していきますのでご参加をよろしく願います。

うさとブロック 伊藤 貞市

健康チェックをはじめました ～西部ブロック～



西部ブロックでも生協ときわ店のご協力で「健康チェック」(無料)を始めました。

第1回目は4月28日の午後3時から4時までの間店の東口コーナーで実施しました。当日は勤医協苦小病院の奥田看護士さん、新任の中野課長さんが参加され、血圧測定・体脂肪測定を行い合わせて健康相談にも応じていただきました。西部ブロックでは初の事業なのでブロック世話人6名も会場の設営や宣伝活動を行いました。お店でも館内放送で紹介してくれ、待ち時間ができるほどの盛況で、13名の方が受けられました。これから8月、12月を除いて毎月1回実施する予定です。「健康チェック手帳」も作成し受診者に渡しました。「手帳」には1年間の実施予定日(月末の木曜日)も記載しています。自らの健康管理のため多くの方が毎月立ち寄りいただけるよう、

ボランテアさんの協力で病院周りがきれいになりました



5月17日(火)午後、友の会のひだまり班10人と役員2人、ボランテアさん2名、ボランテア行動がおこなわれました。

全体では14名参加していただき、建物と地面の隙間から生えていた雑草がすべて除去されました。また、また、また手作りプランターに植えられた花々を飾っていただきました。ご参加されたボランテアの皆さん、本当にありがとうございました。ひだまり班は4月にも、病院で使う「布切り」も協力していただいています。

シマリスも歓迎してくれた「水芭蕉を見る会」



西ブロックでは5月10日(火)に「水芭蕉を観る会」を白老ポロト湖休養林で行いました。当日はウォーキング日和で、ゆったりと流れ下る清流の縁辺に広がる水芭蕉の大群落

シマリスも歓迎してくれた「水芭蕉を見る会」

に中、敷設されてる木道をゆつくりと散歩する行事です。

今年も、友の会員で森林インストラクターの川村隆雄さんのガイド付きです。



森林の中を歩くときのマナーや皮膚にかぶれを及ぼすウルシには驚と立木のものがあるので注意すること等や、「北海道に多く自生しているけれどナラ(奈良)」「などユーモアあふれる解説付きで、途中かわいいうしマリスも姿を見せてくれた気持ちの安らぐ散歩でした。

その後、林の中のビジターセンターで昼食、佐藤誠さんのギター伴奏で「うたごえ」もある楽しい催しでした。

西部ブロック 河野 紘



勤医協苦小牧病院正面玄関の「旧緑地帯」が5月末より患者さん、来院者のための駐車場になりました。駐車場の不足で来院の皆様にはご迷惑をおかけしましたが、少しは解消できます。駐車場への出入の安全も確保されるよう病院として現在検討しています。

紙面の関係で1面の日程ですべてのブロックの行事を載せることができません。ご了承ください。

友の会世話人交流会

日時:2011年6月28日(火)午前10時(午前9時半より受付)

場所:勤医協苦小牧病院2階会議室

内容:午前～記念講演
講師は民医連誌「いつでも元気」の多田編集長さんです。
午後～分散会を行ないます。

主催:友の会学習教育部
参加費は無料です。世話人の皆さんは積極的にご参加ください。

☆苦小牧病院の休診日☆

< 6月 >							< 7月 >						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4						1	2
5 休診日	6	7	8	9	10	11 休診日	3 休診日	4	5	6	7	8	9 休診日
12 休診日	13	14	15	16	17	18	10 休診日	11	12	13	14	15	16
19 休診日	20	21	22	23	24	25 休診日	17 休診日	18 休診日	19	20	21	22	23 休診日
26 休診日	27	28	29	30			24/31 休診日	25	26	27	28	29	30